

# 里山の原風景

日本の土地利用の基本パターン

次の「地域的な事象」はなぜ出現したか？  
あなたは、きちんと説明できますか？

みかん「王国」



高度な専門店街



なぜ、その場所に、それが集積したのか？ 地域的な条件は何か？

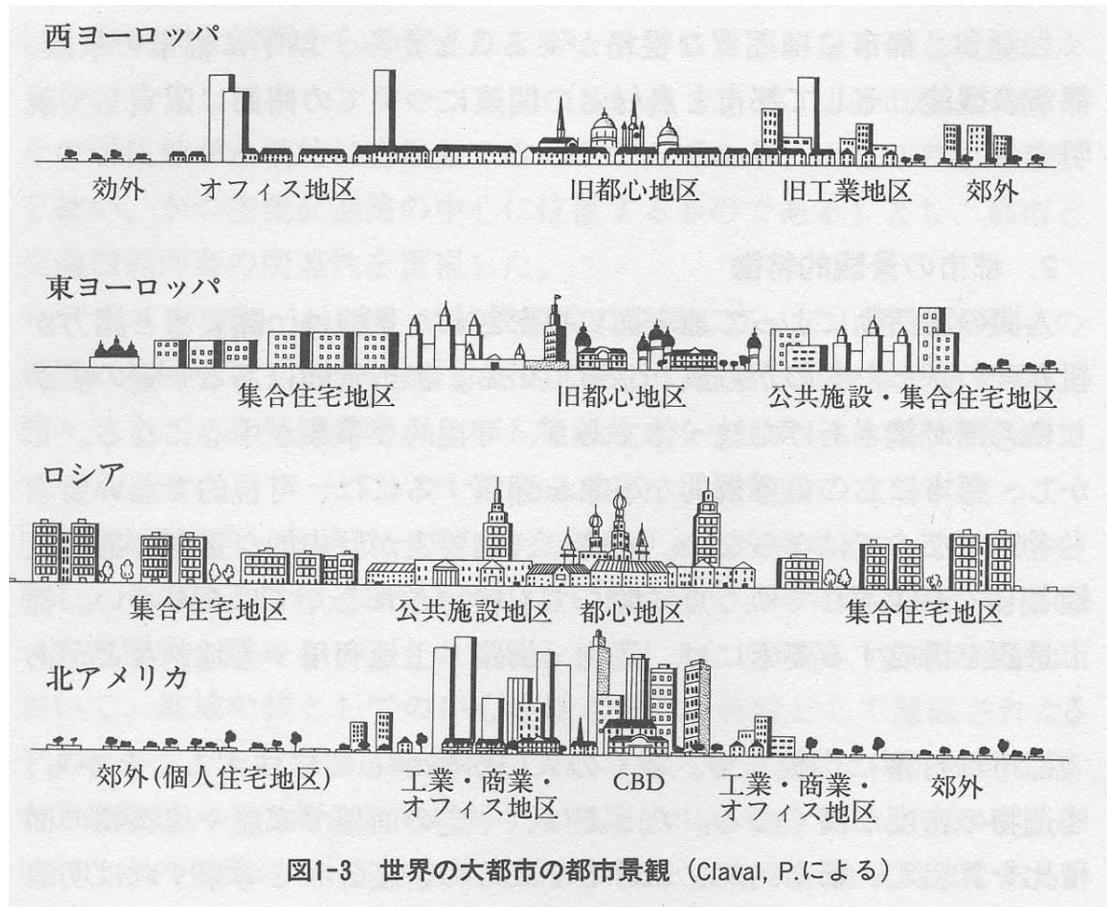


図1-3 世界の大都市の都市景観 (Claval, P.による)

人が作り出す「景観」

«

## land·scape noun

*BrE /'lændskɛp/*

*NAmE /'lændskɛp/*

MENU ▼

1 [C, usually sing.] everything you can see when you look across a large area of land, especially in the country

► the **bleak/rugged/dramatic, etc. landscape** of the area

► the woods and fields that are typical features of the English landscape

► an **urban/industrial landscape**

► (figurative) We can expect changes in the **political landscape**.

2 [C, U] a painting of a view of the countryside; this style of painting

► an artist famous for his **landscapes**

► She specializes in **landscapes**.

→ compare **townscape**

3 [U] (technical) the way of printing a document in which the top of the page is one of the longer sides

► Select the **landscape option** when printing the file.

## land·scape verb

*BrE /'lændskɛp/*

*NAmE /'lændskɛp/*

MENU ▼

~ sth

to improve the appearance of an area of land by changing the design and planting trees, flowers, etc.

► **landscaped gardens**





洪積台地

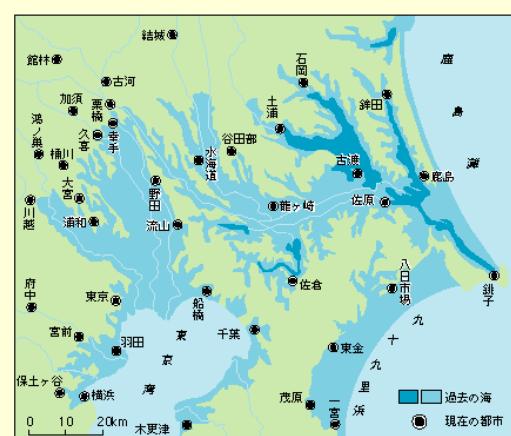
出典 : amanaimages.com



沖積平野

出典 : www.kome100.ne.jp

図表3-1-3 関東平野における縄文海進時の海と陸の分布図



気温が温暖だった約6千年前の縄文海進時には海面が現在より2~3m高く、海岸線はかなり内陸部にあった。現在の市街地の多くは当時は海底にあった。

資料)「変化する日本の海岸—最終間氷期から現在まで」(小池一之・太田勝子編)をもとに建設省作成。

出典 : [www.mlit.go.jp](http://www.mlit.go.jp)

## 村落の形態

- ① [ ] Haufendorf . . . 防御性高い。  
社会的紐帶強い。日本の村落の[ ]はこの形態。
- ② [ ] Runddorf . . . ドイツ東部のスラブ系諸民族などに多く見られる集落形態。村の中央に[ ]があり、民家がその周囲に環状に配列している。
- ③ [ ] Streusiedlung . . . 家屋が一定の距離を置いて分布。社会生活上の不便はあるが、農作業はしやすい。[ ]。
- ④ [ ] Wegedorf . . . 道の両側に民家が並ぶ形態。開拓地に多い。



<http://www.gross-umstadt.de/de/stadtteile>



<http://www.fotocommunity.de/pc/pc/display/28220187>



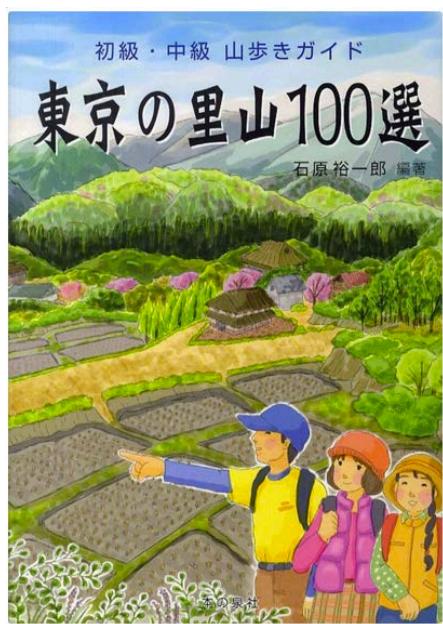
<http://www.city.tonami.toyama.jp/tonamisypher/www/section/detail.jsp?id=5034>

<https://www.teikokushoin.co.jp/photograph/world/photo/germany/3-23.html>



出典：今昔マップ  
<http://ktgis.net/kjmapw/index.html>

## 日本人の原風景（里山）とは？

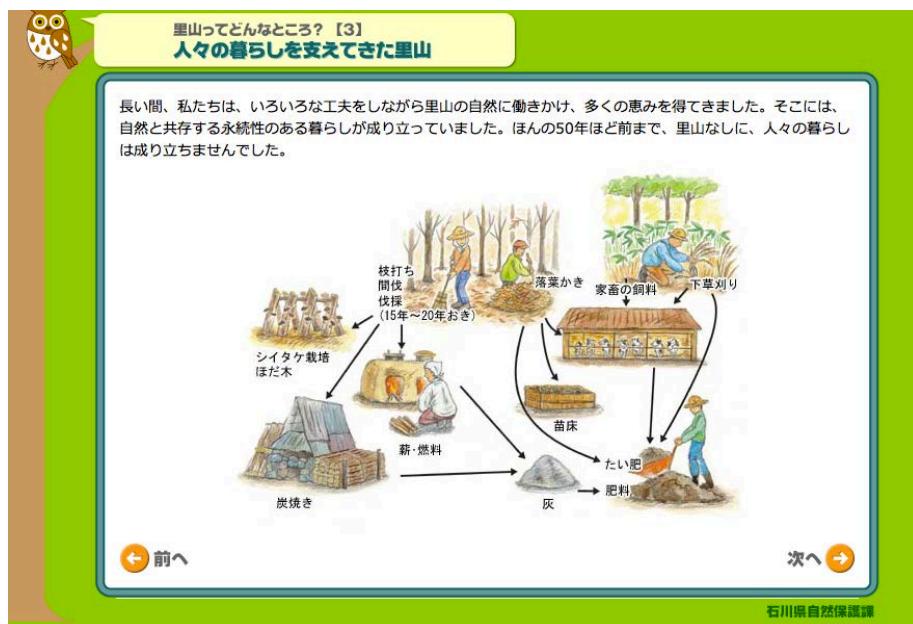


“自然”ということを考える時、私たちは “[⑧]”を想像し、[⑨] のような自然にあこがれを持つかもしれません。しかし、里山と呼ばれているところは、手つかずの自然ではありません。

「里山」とは[⑩] に近い山のすそ野から[⑪] を指します。

<http://www.pref.ishikawa.jp/sizen/satoyama/satoyama/>

# Eco-friendly sustainable life



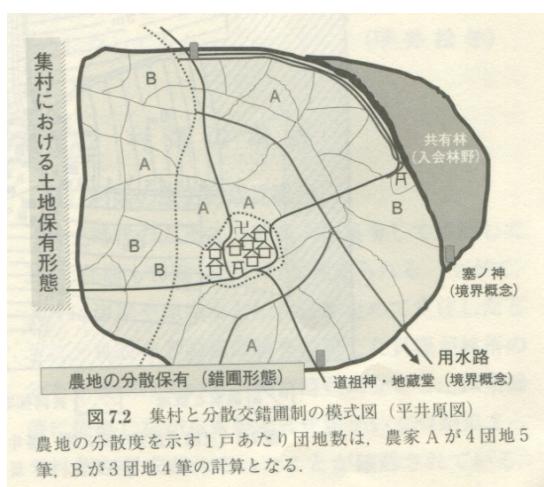
<http://www.pref.ishikawa.jp/sizen/satoyama/satoyama/03.html>

## ムラの暮らし

### 「小宇宙」



### 林野利用



出典：『地理学概論』朝倉書店.

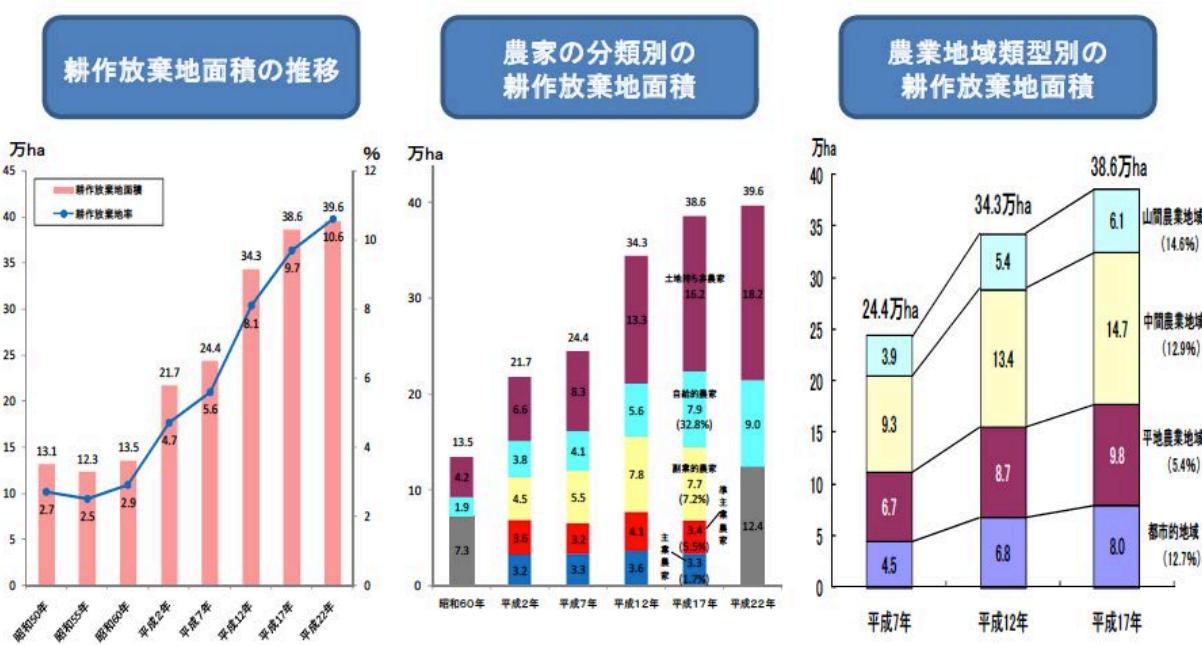
# 伝統的村落とその空間構造

- 集落、耕地、[<sup>⑫</sup>]（里山）という配列
- [<sup>⑬</sup>], [<sup>⑭</sup>]（道祖神）など
- 氏神様と檀家組織（宗教の[<sup>⑮</sup>])
- [<sup>⑯</sup>]の特徴（例：[<sup>⑰</sup>], 祇園祭など）
- [<sup>⑯</sup>]の組織
- 伝統的生業・・・[<sup>⑲</sup>]は畠作文化の名残？
- [<sup>⑳</sup>]文化・・・焼いた灰を肥料にする粗放的農業



写真の出典：  
<http://www.cbr.mlit.go.jp/road/chubu-fukei/route/06.html>

## 耕作放棄地の増加



資料：農林水産省「農林業センサス」

注：耕作放棄地面積率は、  
耕作放棄地面積 ÷ (經營耕地面積  
+ 耕作放棄地面積) × 100

資料：農林水産省「農林業センサス」

注1：昭和60年については、主副業別の区分  
がなく、平成22年については、主副業  
別耕作放棄地面積は公表されていない。  
2：平成17年の( )内の数値は農家分類  
別の耕作放棄地面積率である。

資料：農林水産省「農林業センサス」

注：平成17年の( )内の数値は農  
業地域類型別の耕作放棄地面  
積率である。平成22年については、  
農業地域類型別の耕作放棄地面  
積は公表されていない。

# 耕作放棄地・・・村落景観の崩壊

- [<sup>㉑</sup>]による農家、担い手（後継者）の減少
- 高齢化による[<sup>㉒</sup>]
- [<sup>㉓</sup>]の低迷
- 日本の耕地面積の約10%（中四国などでは20%以上）
- 食糧自給率の低下、[<sup>㉔</sup>↓]<sup>㉕</sup>の増加、[<sup>㉖</sup>]
- 里山保全運動と棚田保全活動、都市農村交流、グリーンツーリズムなど

ふじのくに  
静岡県公式ホームページ

ホーム くらし・環境 健康・福祉 教育・文化 産業・雇用 交流・まちづくり 県政情報

携帯電話向けページ Other language 音声読み上げ 文字サイズ・色合いの変更 ふりがな表示

組織(部署)から探す リンク集 サイトマップ

サイト内検索 Googleカスタム検索 検索 検索の仕方

ホーム > 産業・雇用 > 農山村・農地 > 農地局 > 農地保全課 > 棚田オーナー制度

更新日：平成28年3月24日

## みんなの力で棚田を守ろう

静岡の棚田保全活動 しづおか・棚田・里地くらぶ

### 棚田オーナー制度

「棚田オーナー制度」とは、1区画一定金額で田んぼのオーナーになっていただき、オーナーは農作業体験のほか、棚田で作ったお米などを宅配してもらえる制度です。

「棚田オーナー制度」は全国各地の棚田で導入されていますが、金額や作業内容、宅配されるものは地域によって異なります。地域によって異なりますが、「棚田オーナー」は4月から1年間。募集は前年の11月から2月頃にかけて行われます。

静岡県内では現在、3つの地区で導入されています。このページでは、オーナー制度を導入している地区的紹介をしていきます。

松崎町石部の棚田 萩川市上倉沢の棚田

棚田オーナー制度へのお申し込みは、それぞれの地区のお問い合わせ先にお願いします。

松崎町石部地区の棚田オーナー制度

松崎町石部地区では、オーナー会員のほか、自分の割当の田んぼはないけれど、棚田保全の趣旨に賛同する方で農作業の体験もできるトラスト会員制度も導入しています。

棚田保全活動をとおして都市住民等との交流を進め、地域の活性化に結びつけるため、県内では初めてとなる棚田オーナー制度を平成14年度から実施しています。

オーナー希望者は年々増加しており、毎年応募者数が募集回数を上回るほど人気を集めています。5月の田植えと10月の稲刈りには、毎年、県内外から多くのオーナー又はトラスト会員が石部の棚田を訪れ、懇親会を設けています。

オーナー 約100平方メートルの田で栽培管理を体験します。収穫した米20キロを受け取ります。 35,000円

トラスト 保全活動に賛同する方で、イベントや作業に参加もできます。収穫した米5キロを受け取ります。 10,000円

田んぼにはオーナーの名札が立てられています

作業の前には地元の方が説明してくれます

オーナーも地元の方と一緒に楽しく稲刈りを行います

## 棚田オーナー制度

- ・オーナー
- ・トラスト

## 自分にできる 関わり方の模索

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-630/tanada/tanada-owner.html>

# 山奥のおばあちゃんの「はっぱビジネス」：徳島県上勝町



た、「つまもの」は少量の品物を多品種取りそろえなければならないため、競合する生産地が少なかった。上勝町では、山間のせまい農地を生かし、さまざまな木々や花を少しづつ生産したり、山に自生する野草や乾草を季節に合わせて収穫したりして、需要にこたえることで「つまもの」を産業化することに成功した。さらに上勝町では、山間部に立在する農家の高齢者がおたがいに情報を共有することができるように、農家をネットワークで結び、IT情報端末を活用した通信システムが整備されている。それぞれの農家では、上勝町内の沿革状況から、遠くはなれた大都市の市場情報まで、携帯端末で確認することができる。

このような「つまもの」生産とITを活用した「葉っぱビジネス」は、上勝町の地域経済やコミュニティを活性化しつつある。上勝町では、地域のまちづくりを学びたいと訪れる若い世代を体験的に

受け入れるインターンシップ制度をもついているが、この制度で訪れた若い世代が地域に魅力を感じて定住する例も増えている。

**▲「つまもの」でまちおこしに成功した上勝町**

## 「つまもの」でまちおこしに成功した上勝町

高級地域でのまちおこしは、すでにみたような地元の資源を観光に生かす例や、若い世代をほかの地域から呼びこむ例以外にも、地元にあるものを生かして新しい産業をつくり出す例もある。ここでは、その例として徳島県上勝町と高知県馬路村の取り組みをみてみよう。

刺身などの料理を引き立てるためにはえられぬ「つまもの」。京都の料亭などでは、料理からも四季を感じられるよう、春ならうめの花、秋ならもみじの葉など、四季おりおりの「つまもの」がそえられている。この「つまもの」に目をつけて新しい産業を起こしたのが、徳島県上勝町である。

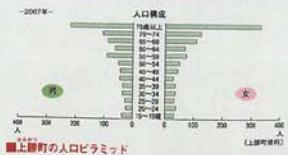


▲「つまもの」の加工作業(徳島県上勝町)

▲「葉っぱビジネスの情報交換会(徳島県上勝町)

四国山地に位置する上勝町は、高い山々と深い谷に囲まれ、斜面につくられた畠田の景観が美しい小さな町である。1960年代以降、過疎化や高齢化が進み、2010年の人口は約2000。そのうち65歳以上の高齢者がじめる割合は約5割にのぼる。かくて、上勝町ではみかん栽培がさんざんであったが、オレンジの輸入自由化や産地間の競争、高齢化による後継者不足や豪雨の影響などで、生産量が減少していく。そこで、1980年代からみかん栽培にかかる新しい農業を模索するなかで、「つまもの」の生産が始まった。

「つまもの」はみかんと比べると小さく軽いため、高齢の女性でも収穫しやすく、山道での運搬が容易である。ま



## ゆずでまちおこしに成功した馬路村

知る人ぞ知る「ゆずドリンクの『ごっくん馬路村』」。このドリンクをはじめ、ポン酢、ドレッシング、ジャム、化粧品など、さまざまなゆずの加工品で有名になったのが高知県馬路村である。

馬路村は、上勝町と同様に、村の面積のほとんどを山地がしめる山間地で、交通の便も悪いため、若い世代の人口が都市部に流出し、過疎化にならむ地域であった。馬路村では、渓谷に沿って点在する小さな集落に、山の斜面に階段状に石を積み上げてつくられた「段築」が多くみられる。この段築のせまい土地で1960年代からゆずがつくられてきた。しかし、ゆずの生産地は高知県内に数多く、生産量の少ない馬路村では、ほかの産地との競争や価格の低下など多くの課題をかかえていた。

そこで馬路村の農協は、「ごっくん馬路村」をはじめとしたゆずの加工品を開発し、ゆずに付加価値をつけて



▲馬路村のさまざまなゆず加工品

売り出し事業を取り組んだ。また、大都市から遠い山間部に位置するという不利な条件を逆手に取るために、通販販売を用いるなど販売方法を工夫することで、全国に販売できるようになった。さらに、自然豊かな「ゆずの村」馬路村を商品とともに全国に発信することにも努めた。その結果、馬路村の名前とゆず加工品は全国で徐々に広まり、商品の販売額も増加していく。現在では、村内にゆずの加工工場が5か所つくられ、ゆずの生産・加工・販売を地域内へ一体化することで、新しい働き場所も生まれている。

馬路村のこのような発想は、現在では林業にも生き残っている。資源傾向にあった林業を再生し、村の96%をしめる森林を活用するために、間伐材を利用して木のパッケージや枕、皿などの商品の開発や企画、販売まで展開する「ECOAS馬路村」を、村長が代表となって設立した。「森を育てる」だけではなく、「森をめぐらし・加工し・売る」とことで、地域内に新しい産業を生み、山の環境保全活動へつなげている。ゆずや山林など、山周辺ならではの地域資源を生かしたまちおこしは、農業や林業など第1次産業を經營しながら、地域内に新しい産業の可能性を生み、若い世代に働く場所をつくることで、まちづくりへと発展しつつある。

**▲「ゆずの村」馬路村のサイト**

▲「ゆずの村」馬路村の生産量

（平成23年実績）

# Landscape ≈ Landschaft (独)

- 自然景観 (natural landscape) に、人間の影響が決定的に及んだ景観が文化景観である
  - 人間に由来する複合体が景観の構造を規程している
- During the Middle Ages, the term 'landscape' referred to the land controlled by a lord or inhabited by a particular group of people
  - In the early 17<sup>th</sup> century, the term came to refer to the appearance of an area…
  - The study of landscape by C. Sauer put forward its concept as an alternative to the popular form of geographical explanation known as environmental determinism…

出典：『地理学辞典』二宮書店。  
The dictionary of human geography 3<sup>rd</sup> edition, Blackwell.

## 問い合わせ先

- 質問がある場合、授業終了後、またはメールにて受け付けます

宛先は [jtsu@geoenv.tsukuba.ac.jp](mailto:jtsu@geoenv.tsukuba.ac.jp)

- パソコンのメールアドレスから送信のこと
  - 携帯のアドレスから送って来て、こちらからの返信が届かないトラブルがあってもフォローはしません
- 名前、タイトル、授業名、質問内容をコンパクトに明記のこと